

最近になって中学校給食を実現した自治体は？

「横浜だけなぜ無いの?」。全国各自治体はさまざまな工夫で知恵を絞り中学校給食を実現しています。一例をご紹介します。

【case.1】親子方式（北九州市）

北九州市は平成 23 年度までに、小学校の給食室で調理し、近隣の中学校へ保温食缶で配送する「親子方式」を実施しました。新たに給食施設の設置が必要なく財政支出を抑えています。政令市で「親子方式」の中学校給食を実施しているのは北九州市のみです。



【case.2】スクールランチ（名古屋市）

名古屋市では「中学校スクールランチ」という名称の学校給食を実施しています。弁当を望む声もあることから、家庭弁当を認め、弁当持参の生徒とスクールランチを食べる生徒が共に会食します。学校給食法により給食費の負担は食材費相当分の1食 280 円のみとなっています。



column

ララ物資 ～戦後の学校給食。横浜から全国に～

太平洋戦争終了後の混乱期(昭和21年)、横浜の新港埠頭に、極端な食糧危機や物不足を救うため、海外の慈善団体からの支援物資を積んだ一隻の船が接岸。船荷はミルク・穀類・缶詰などの食料品から衣類・医薬品までの生活物資でした。この物資は「ララ物資」と呼ばれ以後6年間、援助は続きました。そして、この中の「脱脂粉乳」による子供達への配食が戦後の学校給食の始まりです。

「どんな家庭環境にあらうとも、未来を担う子供達に、栄養があって温かい給食を、お腹いっぱい食べてもらいたい」。先人への感謝の気持ちを忘れず、私達も同じ思いで中学校給食の実現に取り組んでいます。



政策リーフレット



もち づき こう とく
望月高德

【都筑区】

横浜市会議員

横浜の新しい未来を創るために
中学校給食を一緒に実現しよう。



【旭区】大岩まさかず



【鶴見区】有村としひこ



【保土ヶ谷区】いそへ圭太



【緑区】伊藤ひろたか



【南区】木下よしひろ



【中区】くしだ久子



【金沢区】しのはら豪



【港北区】豊田有希



【青葉区】藤崎浩太郎

横浜の未来を結ぶ会

〒231-0017 横浜市中区港町 1-1
TEL045-671-4435 FAX045-681-8118

私たちは『横浜の未来を結ぶ会』です！

本年1月10日、昨年12月に「みんなの党」を離党した10人(表紙写真)で、新会派『横浜の未来を結ぶ会』を結成しました。硬直化した横浜市政に風穴をあけるため、行財政改革から教育・福祉・子育てまで、当たり前の市民感覚を大切に若い力で戦っています。皆さまの生のお声もお待ちしております！

- 中学校給食の早期実施を目指します！
- 現行案の新市庁舎の建設に反対します！
- 税金の無駄遣いに、徹底的に切り込みます！

※これまでの取り組みは会派HPへ。

横浜 結ぶ

検索

プロフィール

もちづきこうとく
望月高德

静岡県生まれ。早稲田大学政治経済学部政治学科卒。

【職歴】

野村総合研究所社員、専門学校講師、学習塾経営など。
平成 23 年より横浜市会議員。

皆様の声が“政治活動の羅針盤”。皆様の声お待ちしております。

政務相談・市政報告、お気軽にご連絡を！

横浜市会議員 望月高德政務活動事務所
〒224-0003 都筑区中川中央 1-24-17-2F ～市営地下鉄センター南駅一番出口からすぐです～
TEL&FAX：045-532-9089
HP：http://www.khotoku.net/ Mail：info@khotoku.net

郵便はがき

2 3 1 8 7 9 0

0 1 7

<受取人>

横浜市中区港町1-1

横浜の未来を結ぶ会

団長 伊藤 大貴行

●みなさまの声をお聞かせください。

都築